

2024年2月26日

ローム株式会社

設立30周年記念曲と共に日本全国にオーケストラの音楽をお届けする特別企画第4弾！

## ROHM MUSIC FOUNDATION 30<sup>TH</sup> ANNIVERSARY PROJECT Vol.4

### 広島交響楽団 プレミアム・コンサート in 倉敷

ローム株式会社(本社:京都市)が支援する公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション(京都市)は、財団設立30周年を記念し日本全国でオーケストラのコンサートを開催する「ROHM MUSIC FOUNDATION 30<sup>TH</sup> ANNIVERSARY PROJECT プレミアム・コンサート」(以下、「本プロジェクト」)の第4弾として、「広島交響楽団 プレミアム・コンサート in 倉敷」を2024年5月26日(日)に開催いたします。

本プロジェクトは、これまで京都、福岡、仙台にて開催しており、オーケストラの素晴らしい演奏と共に、ローム ミュージック ファンデーションが過去に音楽家育成事業に関わり、現在国内外で活躍する音楽家「ローム ミュージック フレンズ」によるソロなどを多くのお客様にお楽しみいただきました。

第4弾として倉敷で開催する今回の公演も岩代太郎作曲の設立30周年記念作品「東風慈音ノ章」で幕を開けます。続いて、国際コンクールで優勝以来、国内外の主要オーケストラと多く共演するローム ミュージック フレンズの神尾真由子をソリストに迎え、メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲を披露します。プログラムのメインには、誰もが一度は耳にしたことのある壮大で華やかなムソルグスキーの「展覧会の絵」を広上淳一の指揮でお届けします。また、本作品の演奏前には、司会の朝岡聡が楽しく楽曲を解説するプログラムもご用意しております。

ローム ミュージック ファンデーションの30年以上にわたる音楽文化支援活動で得た絆が生み出す豪華プログラムをお楽しみください。

#### ■第4回公演概要



名 称	: ROHM MUSIC FOUNDATION 30 <sup>TH</sup> ANNIVERSARY PROJECT Vol.4 広島交響楽団 プレミアム・コンサート in 倉敷
日 程	: 2024年5月26日(日) 15:00開演(14:15開場)
会 場	: 倉敷市民会館 ホール(倉敷市)
オンライン	: クラシック専門ストリーミングサービス「カーテンコール」内 「ローム ミュージック チャンネル」にて配信 <a href="https://curtaincall.media/rmf">https://curtaincall.media/rmf</a>
出演者	: 指揮者 / 広上 淳一 ヴァイオリン / 神尾 真由子(ローム ミュージック フレンズ) 管弦楽 / 広島交響楽団 司会 / 朝岡 聡
料 金	: S席/4,000円、A席/3,000円、B席/2,000円 オンライン配信チケット/500円
チケット販売	: 2024年2月26日(月) チケットぴあ 他にて販売開始
主 催	: 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
特別協賛	: ローム株式会社
協 賛	: ローム・ワコー株式会社

※詳細は添付のチラシをご参照ください。

## ■コンサート プログラム

- 岩代 太郎 : 東風慈音ノ章 ~ローム ミュージック ファンデーション設立 30 周年記念 委嘱作品~  
F.メンデルスゾーン : ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 Op.64 (独奏: 神尾 真由子)  
M.ムソルグスキー : 組曲「展覧会の絵」(M.ラヴェル編)

### <コンサートのポイント>

- ・本プロジェクトのために委嘱した岩代太郎作曲の作品を演奏。  
※世界初演は2023年1月25日 角田鋼亮指揮、京都市交響楽団。本作品の演奏としては本公演で4回目。
- ・ソリストの神尾 真由子(ローム ミュージック ファンデーション2001~2002年度奨学生)はチャイコフスキー国際コンクールで優勝し、国内外のオーケストラに招かれる世界的ヴァイオリニストのひとり。指揮者はこれまで数多くのオーケストラを指揮し、海外でも評価される国内外で活躍する実力派・広上淳一。
- ・司会の朝岡聡による楽曲や楽器解説も含まれており、クラシック愛好家だけではなく幅広い方々にお楽しみいただけるプログラムをご用意。

## ■ 30周年記念委嘱作品について

### ①タイトル

<日本語表記>

東風慈音ノ章(こちじおんのしょう) Rohm Music Foundation 30th Anniversary Work

<英語表記>

The Chapter of KOCHI-JION Rohm Music Foundation 30th Anniversary Work

### ②作曲者 コメント

以前から幾度となく、異国の地で「たった一人の日本人メイン・スタッフとして」映画や映像制作の現場に参画してまいりました。特にアジア圏内の制作現場では、歓迎の視線、そして嫌悪の視線が交差する現場も決して珍しくありません。そんな折、私は関係者の人々に、「慈愛」「敬愛」の念をもって誠意を尽くすことで、結果、多くの友人に恵まれてきました。「敬う」「慈しむ」という心情は、ほぼ誤解なく伝わるものだと自負しています。因みに「愛情」や「礼節」だけではダメなのです。それは、相手が求めているカタチでなければ、伝わらず、受け止めてもらえないことさえあります。夫婦間や恋人同士であっても、「愛情」や「礼節」の掛け違いから喧嘩になることもあるほどですから。改めて言うまでもなく「愛情」や「礼節」が争いや戦争のきっかけになってきたことは、誰もが歴史から学べるところでしょう。

世界の分断が日に日に増し、不穏な空気感が漂っている今、極東に位置する私たち日本が、明日に向かって何を成すべきか、そんな想いを敢えて「祝典曲」に込めたいと思いました。

「音楽」が成就する為には「平和」が必要です。

「音楽」は「心」にしか宿りません。

そんな様々な明日への想いを込めて、「東風慈音ノ章」と名づけさせて戴きます。

### 作曲者: 岩代太郎<プロフィール>



©Rowland Kirishima

東京藝術大学大学院修了。国内外を問わず数多くの映像作品の音楽を担当。映画「血と骨」「春の雪」「蝉しぐれ」「利休にたずねよ」「Fukushima 50」「キネマの神様」で日本アカデミー賞優秀音楽賞、「闇の子供たち」で毎日映画コンクール音楽賞を受賞。またジョン・ウー監督「レッドクリフ」「The Crossing」「Manhunt」、ボン・ジュノ監督「殺人の追憶」も手掛ける。TVでもNHK連続テレビ小説「あぐり」、大河ドラマ「葵・徳川三代」「義経」なども担当。2018年より、演劇と音楽のあたらしいカタチの舞台「奏劇」を企画し、自らの原案・作曲・演奏で公演を行っている。また自ら主宰してNPO法人「オトブミ集〜絆」を立ち上げ、社会貢献活動にも取り組んでいる。

■ライブ配信及びアーカイブ配信について(有料)

クラシック専門ストリーミングサービス「カーテンコール」にてライブ配信いたします。  
また、2024年5月27日(月)15:00～6月2日(日)23:59までアーカイブ配信でもご覧いただけます。

■ROHM MUSIC FOUNDATION 30<sup>TH</sup> ANNIVERSARY PROJECT 特設WEBサイトについて

ローム ミュージック ファンデーションWEBサイト内に特設WEBサイトを設置し、本プロジェクトの概要や各地の公演情報等を随時更新して掲載しています。  
<<https://www.rmf.or.jp/jp/30th-project/>>

■ローム ミュージック フレンズについて

ローム ミュージック ファンデーションは様々な事業で若い音楽家の育成を図っており、その事業の中で関わった音楽家を「ローム ミュージック フレンズ」(4,865名:2024年2月現在)として、ともに音楽を届ける仲間となっ  
ていただいています。

事業名	内容
奨学援助 (1991年度～)	国内外の教育機関で音楽を学ぶ学生への奨学金の支給。 現在までに540名を支援。
音楽在外研究援助 (1993年度～2014年度)	音楽家の一層の研鑽を図るための在外研究を援助。 現在までに64名を支援。
音楽セミナー (1992年度～)	プロの音楽家の育成を目的としたセミナー。これまでに弦楽器クラス、管楽器 クラス、指揮者クラスを実施し、現在までに333名が受講。
ローム ミュージック セミナー (2019年度～)	世界で活躍するローム ミュージック フレンズによる音楽家育成セミナー 2019年度からは宮田大・チェロクラスを実施し、現在までに11名が受講。
京都・国際音楽学生フェス ティバル (1993年度～)	国際交流と音楽家の育成を目的として、世界を代表する音楽学校から音楽学 生を京都に招いて開催するフェスティバル。 現在までに国内外から2,646名が出演。
小澤征爾音楽塾 (2000年度～)	小澤征爾氏の「若い音楽家を育てたい」という熱い思いで始まったオペラや オーケストラの公演を通じて若手音楽家の育成を図る教育プロジェクト。 現在までに1,530名が出演。

※ローム ミュージック フレンズは複数事業に関わった方がいるため、各事業の人数と合計人数は一致しません。

以上



# ROHM MUSIC FOUNDATION 30<sup>TH</sup> ANNIVERSARY PROJECT

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションは、京都市に本社を置く半導体・電子部品メーカーであるローム株式会社および創業者の佐藤研一郎(1931年～2020年)が中心となって1991年に設立され、若手音楽家の育成やコンサート支援など音楽文化の普及と発展のためさまざまな活動を行っており、2021年に設立30周年を迎えました。設立30周年を記念し、この活動をより広げるために音楽の素晴らしさを伝えるオーケストラのコンサートを全国各地で開催いたします。各地のオーケストラとともに、ローム ミュージック ファンデーションが過去に若手音楽家育成事業で関わり、現在国内外で活躍する音楽家「ローム ミュージック フレンズ」の出演や、設立30周年を記念した委嘱作品の演奏など華やかなプログラムをお届けします。



## 広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra (管弦楽)

国際平和文化都市“広島”を拠点に“Music for Peace ～音楽で平和を～”を旗印として活動するプロオーケストラ。2017年より下野竜也が音楽総監督を務め、その意欲的な音楽づくりが注目を集めた。2024年4月からはクリスティアン・アルミンクが音楽監督に就任。徳永二男がミュージック・アドバイザー、下野竜也が桂冠指揮者、秋山和慶が終身名誉指揮者を務める。1963年「広島市民交響楽団」として設立、1970年に「広島交響楽団」へ改称。学校での音楽鑑賞教室や社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域に根差した楽団として「広響」の愛称で親しまれる。1991年の「国連平和コンサート」(オーストリア)での初の海外公演以降、チェコ、フランス、ロシア、韓国、そして2019年にはポーランド・ワルシャワでの「ショパンと彼のヨーロッパ国際音楽祭」に招かれ、ヒロシマのメッセージを音楽で海外へも発信。これまでに「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞」「ENEOS音楽賞」他受賞歴多数。

公式Web <http://hirokyo.or.jp/>



## 広上 淳一 Junichi Hirokami (指揮)

東京生まれ。尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。26歳で第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールに優勝。これまでノールショピング交響楽団、リンブルク交響楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団、コロンパス交響楽団のポストを歴任。フランス国立管弦楽団、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、モントリオール交響楽団、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団、ウィーン交響楽団、サンクトペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団などへ客演を重ねる。現在、オーケストラ・アンサンブル金沢アーティストティック・リーダー、日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団広上淳一。また、東京音楽大学指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。

管弦楽団、ロンドン交響楽団、ウィーン交響楽団、サンクトペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団などへ客演を重ねる。現在、オーケストラ・アンサンブル金沢アーティストティック・リーダー、日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団広上淳一。また、東京音楽大学指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。



## 神尾 真由子 Mayuko Kamio (ヴァイオリン)

ローム ミュージック フレンズ<2001、2002年度奨学生>4歳よりヴァイオリンをはじめ。2007年に第13回チャイコフスキー国際コンクールで優勝し、世界中の注目を浴びた。国内の主要オーケストラはもとより、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団、バイエルン州立歌劇場管弦楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団などと共演。これまで里屋智佳子、小栗まち絵、工藤千博、原田幸一郎、ドロシー・ディレイ、川崎雅夫、ザハール・ブロン各氏に師事。楽器は宗次コレクションより貸与されたストラディヴァリウス1731年製作「Rubinoff」を使用している。大阪府知事賞、第13回出光音楽賞、文化庁長官表彰、ホテルオークラ音楽賞はじめ数々の賞を受賞。東京音楽大学教授。

©Makoto Kamiya



## 朝岡 聡 Satoshi Asaoka (司会)

横浜生まれ。慶應義塾大学卒業。テレビ朝日にアナウンサーとして入社し、各種スポーツ中継の他「ニュースステーション」初代スポーツキャスターとして活躍。1995年フリーとなってからはテレビ・ラジオ・CMの他、クラシックコンサートの企画構成や司会でもコンサート・ソムリエとして活動のフィールドを広げている。とくにオペラと古楽ではユニークな評論が注目を集めており、クラシックの語り部としても幅広く活動中。興味深い内容を軽妙な語り口で展開

する独自の世界は、新しい芸術ファンのすそ野を広げる司会者として注目と信頼を集めている。日本ロッシェニ協会副会長。公益財団法人 日本音楽教育文化振興会理事。東京藝術大学客員教授。



## 岩代 太郎 Taro Iwashiro (作曲)

東京藝術大学大学院修了。国内外を問わず数多くの映像作品の音楽を担当。映画「血と骨」「春の雪」「蝉しぐれ」「利休にたずねよ」「Fukushima 50」「キネマの神様」で日本アカデミー賞優秀音楽賞、「闇の子供たち」で毎日映画コンクール音楽賞を受賞。またジョン・ウー監督「レッドクリフ」「The Crossing」「Manhunt」、ボン・ジュノ監督「殺人の追憶」も手掛ける。TVでもNHK連続テレビ小説「あぐり」、大河ドラマ「葵・徳川三代」「義経」なども担当。2018年より、演劇と音楽のあたらしいカタチの舞台「奏劇」を企画し、自らの原案・作曲・演奏で公演を行っている。また自ら主宰してNPO法人「オトブミ集～絆」を立ち上げ、社会貢献活動にも取り組んでいる。

©Rowland Kirishima

## ローム・ワコー株式会社

ローム・ワコー株式会社は、1966年に笠岡市に固定抵抗器の製造工場として誕生しました。1989年にはマレーシアに工場を展開し、事業を拡大してまいりました。

ロームグループが掲げる企業目的「われわれは、つねに品質を第一とする。」のもと、社内一体となって品質保証活動の徹底化を図り、ステークホルダーの皆様の期待にお応えが出来るよう企業活動を推進しております。また、持続可能な社会の実現に貢献するため、ロームグループの環境方針のもと、地球環境に配慮した生産活動に努めております。より良い状態で次世代に引き継ぐため、環境保全に配慮しながら、これからも事業活動を通じて地域社会に貢献してまいります。

